
切ない少女がくれた思い

絶望に舞う夢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

切ない少女がくれた思い

【Nコード】

N0561Z

【作者名】

絶望に舞う夢

【あらすじ】

切ない少女を見守り、いつしか自分も願ってしまう。切なくて、どこか温かい二人の思い。

神様がいるのなら私にお母さんをください。

たった4歳の少女は毎日毎日、空に手を掲げて祈るように言います。その声も手も震えることもせずしっかりとしていて、懸命に祈る少女の姿がとても切ない。

少女との出会いは寒くて白い冬だった。一人きりで泣いていた、どうしたの？と聞くと少女は言った

「おかあさんをかえして」

小さな女が言うには重すぎる言葉、けれどとても心に響く言葉だった。その日私は少女の強さを知った、そして弱さも、私はゆっくりと抱いてあげることしかできなかった。

「お母さん、今日ね、お母さんに会える気がするの」
ずっとずっと、信じているから、もう見守ってあげることしかできず、とても切ない、そしていつしか私も思うようになった。

神様、私をこの少女のお母さんにしてくださいって・・・

少女がいつか大人になって、諦めてしまう姿を見たくない
今信じている神様を忘れてほしくない

母親に向かう少女の愛を無駄おもいにしたくない
少女がすべてを知り、失ってしまうのが怖い

そんなたくさんの思いが、私の中にできて
私にも信じるものと護りたい人ができた

(後書き)

突然書きたくなって書いたものです。物足りないとおもわせてしまったらすみません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0561z/>

切ない少女がくれた思い

2011年12月2日00時46分発行